

ほんのむし

「ほんのむし」とは、一般的に読書家のことを言います。芸能界きっての読書家だった児玉清さんの著書『寝てもさめても本の虫』よりこの名前を拝借しました。身延中にもいそうですね、「ほんのむし」が…



身延中図書館
オリジナルキャラクター
栞くん

ようこそ！身延中図書館へ

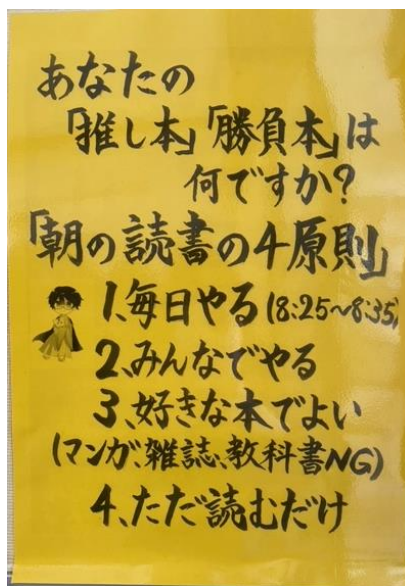
7日に58名の新生を迎えたと思ったら、1、2年生の校外学習が終わり、選手権大会。毎日めまぐるしく過ぎていきます。何だかとても、忙しい、忙しい。でも忙しすぎて、本当に目がまわりそうになった時には学校図書館へどうぞ！身延中の「憩いの空間」として、そして知りたい・読みたいという知的好奇心にこたえる「知の泉」として全校のみなさんを歓迎いたします。どうぞ、この1年間よろしくお祈りします。

学校図書館の機能

学校図書館はただ「本を借りて、返す」場所だけではありません。学校図書館の機能は以下の4つです。

<h3>学習センター</h3> <p>学習活動をサポートしたり授業の内容を豊かにしてその理解を深める。</p>	<h3>情報センター</h3> <p>生徒や先生方の情報ニーズに対応したり、生徒が情報の収集・選択・活用する能力を育てる。</p>
<h3>読書センター</h3> <p>生徒の読書の場であるとともに、生徒への読書指導・読書支援を行う。</p>	<h3>生徒のオアシス</h3> <p>休み時間や昼休み、放課後など、教室とは違った空間で違った仲間と関わるができる場である。</p>

1日のスタートは朝読書から



「朝の読書の4原則」 今年度は深沢修平さん(3B)に書いてもらいました！

身延中学校では平成28年度の開校以来「朝読書（通称：朝読）」を行っています。この朝読は読書の機会を増やすだけでなく、朝練から学習モードへのリセットであったり、心を落ち着かせ集中力を養うためにもとても効果的です。

今年度も読書を通して、「文化の香り高い」身延中学校をみんなの手でつくっていきましょう。「1日10分から50分の読書を続ける人は学力が高い」というデータもあります。家庭でも「すきま時間」をみつけて本に親しむ時間をつくってみませんか？



ある日の朝読の一コマ。先生方も、教室で、廊下で、または職員室でページを開いていました。身延中には読書好きの先生が多いです。先生にどんな本を読んでいるのか尋ねてみたり、反対にみなさんの好きな本を紹介してみるのも良いですね。

学校図書館ではこんなこともできます！学校司書・河野までお気軽に！！

- レファレンスサービス…調べたいことがらについて、資料の探し方や資料の提供ができます。ただし、宿題の答えは教えられないのでご注意ください！
- リクエストサービス…読みたい本が身延中学校にない場合、購入をしたり、他の図書館などから取り寄せることができます。
- 読書相談…「どんな本を読んだらいいのかわからない」そんな人の相談にのります。みんなの心に響く本を紹介できるように、私も日々、修行中です（笑）



新しい本が図書館に入ってきています。

- 54字の物語エイト（氏田雄介：編著／PHP研修所）
- 都会のトム&ソーヤ19（はやみねかおる：著／講談社）
- ゆるキャン△13（あfろ：著／芳文社）
- 世界は「」で沈んでいく（櫻いいよ：著／PHP研修所）
- ラストで君はまさかという part5全5巻（PHP研修所）



身延中ホームページでも読書の話を提供していきます。時々見てください。